

2024年3月期 第1四半期

決算説明会

ニデック株式会社



－ 注意事項 －

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私達は、法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。また、この記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私達の現在の期待とは、実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となり得ます。これらの要素やリスクについては当社の継続開示及び適時開示等の記載をご覧ください。

表紙の写真は、ニデックドライブテクノロジー（旧・日本電産シンボ）が「MF-TOKYO 2023 第7回プレス・板金・フォーミング展（2023年7月12-15日開催）」に出展したEV駆動モータコア加工用高精度高速プレス「TVX-3300」です。モータコア向けプレス機はEVシフトの追い風を受けて受注・販売ともに堅調です。

■ 連結決算業績

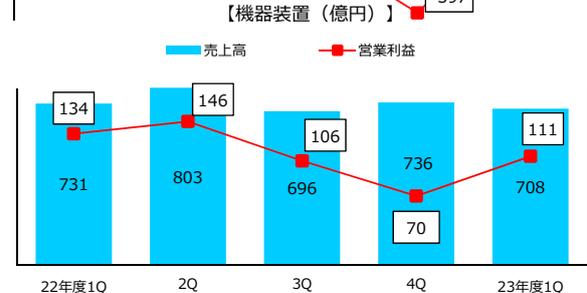
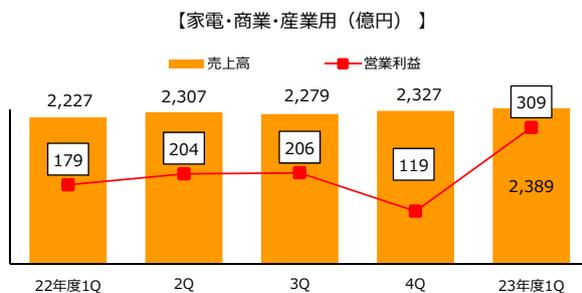
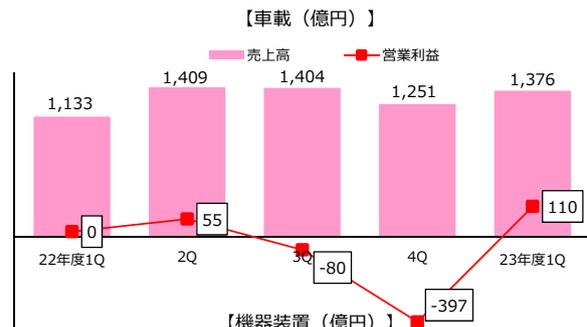
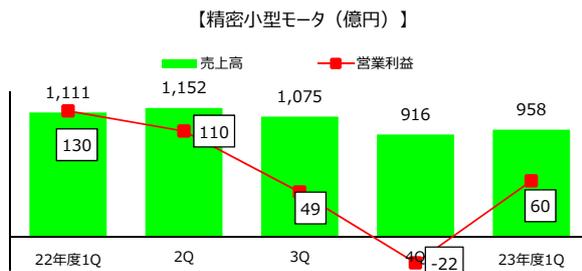


(百万円)	22年度 第1四半期	23年度 第1四半期	増減率	23年度 通期見込
売上高	540,369	566,055	+4.8%	2,200,000
営業利益	44,660	60,152	+34.7%	220,000
営業利益率	8.3%	10.6%	-	10.0%
税引前利益	56,989	86,081	+51.0%	210,000
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	41,321	64,041	+55.0%	165,000
一株利益 (円)	71.50	111.45	+55.9%	287.16
対米ドル為替レート 平均・・・ 期末・・・	129.57円 136.68円	137.37円 144.99円	+6.0% +6.1%	<想定レート> 米ドル=120円 ユーロ=130円 (2Q以降想定レート)

為替感応度：1円あたり米ドルは売上高100億円、営業利益11億円、ユーロは売上高19億円、営業利益4億円（全てFY23通期ベース）

3

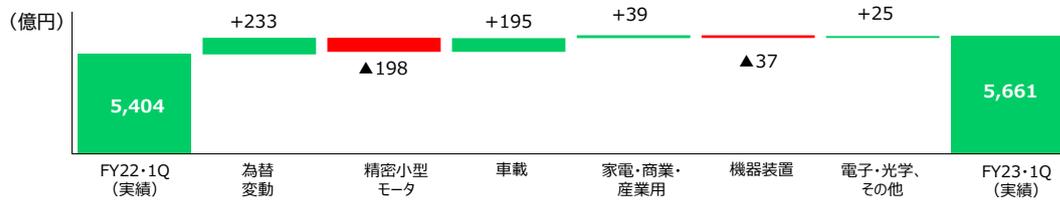
■ 製品グループ別業績推移



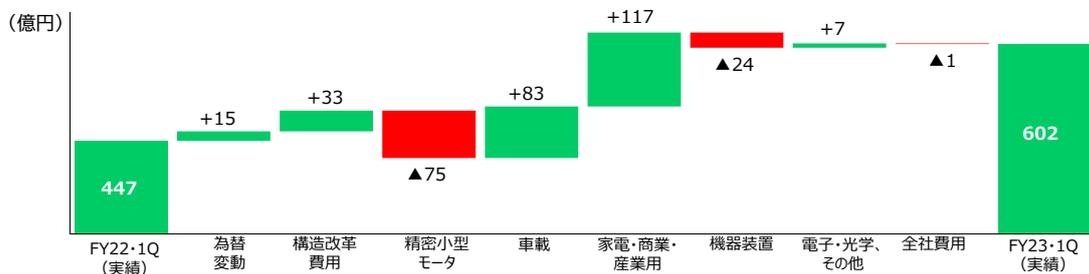
4

2023年度1Qの前年同期比増減分析

【売上高】



【営業利益】



2023年度1Qの直前四半期比増減分析

【売上高】

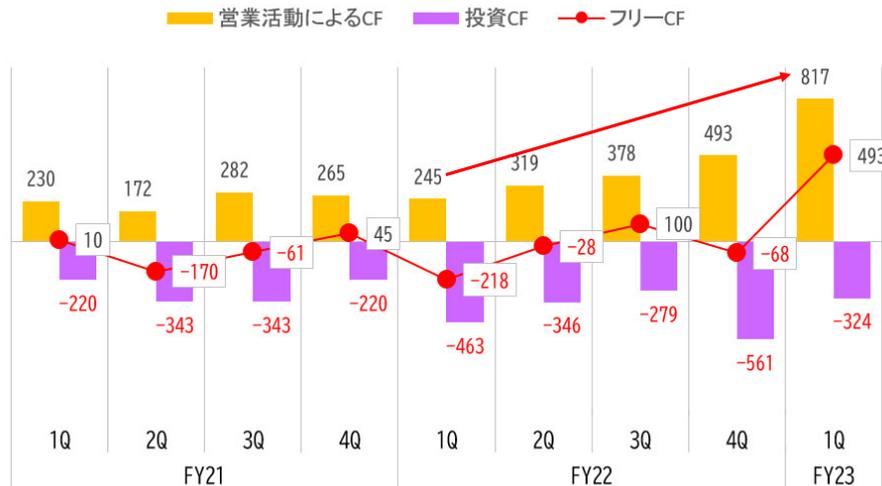


【営業利益】



■フリーキャッシュフローの四半期別推移

営業活動によるCFは着実な改善トレンドへ。FY23は通期ベース過去最高のFCFを目指す



7

■2023年度1Q連結決算ハイライト

- 連結売上高は、前年同期比4.8%増収の5,661億円。
- 営業利益は、前年同期比34.7%増益の602億円となり、**四半期ベースで過去最高を更新。**
- 税引前利益は、為替差益243億円を計上した影響も含め、前年同期比51.0%増益の861億円となり、**四半期ベースで過去最高を更新。**
- 親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比55.0%増益の640億円となり、**四半期ベースで過去最高を更新。**
- 中期成長を牽引する家電・商業・産業用の四半期ベース営業利益が**過去最高を更新。**

8

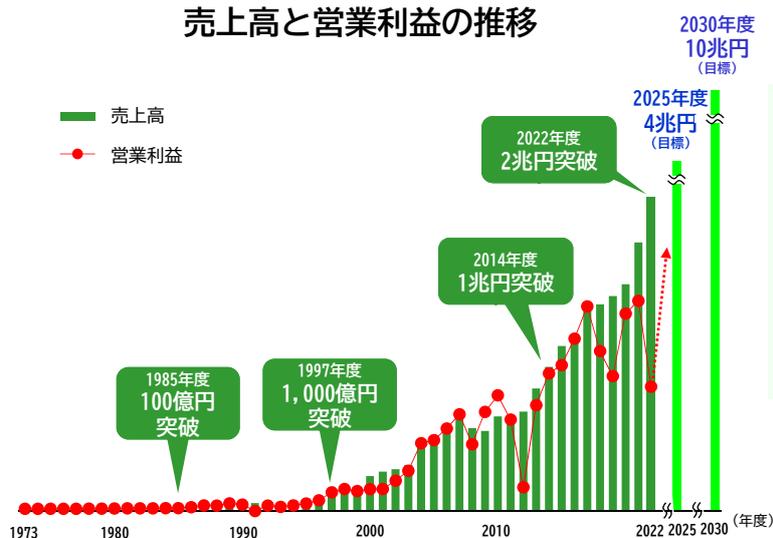
中長期戦略目標

9

Nidec の中長期目標

Nidec
-All for dreams

売上高と営業利益の推移



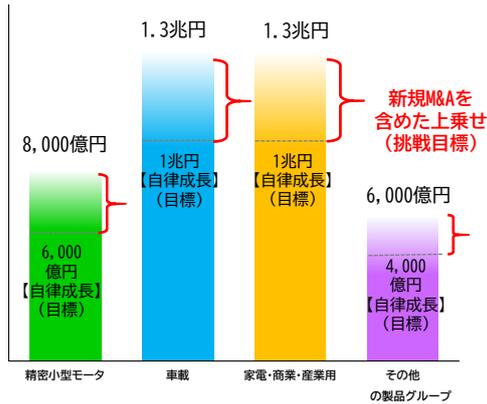
成長領域に軸足を置いた自律成長と新規M&Aによる売上と利益の増加を目指す。

10

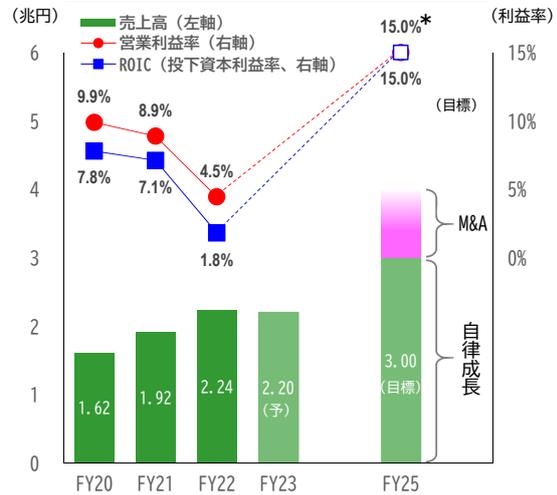
■ 中期戦略目標 *Vision2025*

2025年度
売上高：4兆円（目標）

売上高目標4兆円を製品グループ別に分解



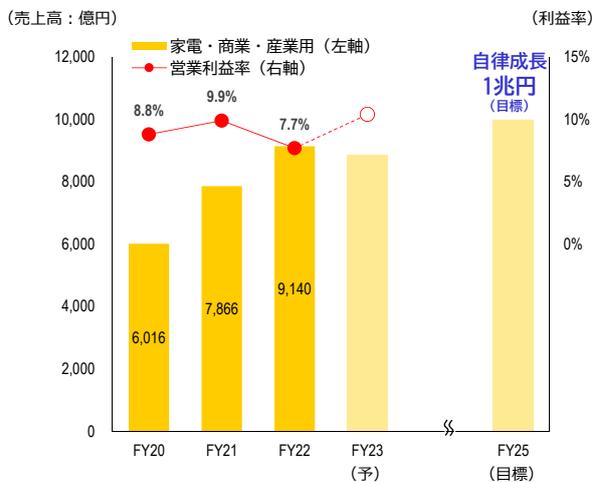
売上高3兆円（営業利益率15%）
とM&A1兆円で、計4兆円



■ 家電・商業・産業用：高成長への打ち手

高効率モータへの置き換え等グリーンイノベーション関連需要の獲得を軸に高成長を実現する

【家電・商業・産業用の *Vision2025*】



【中期成長ドライバー】

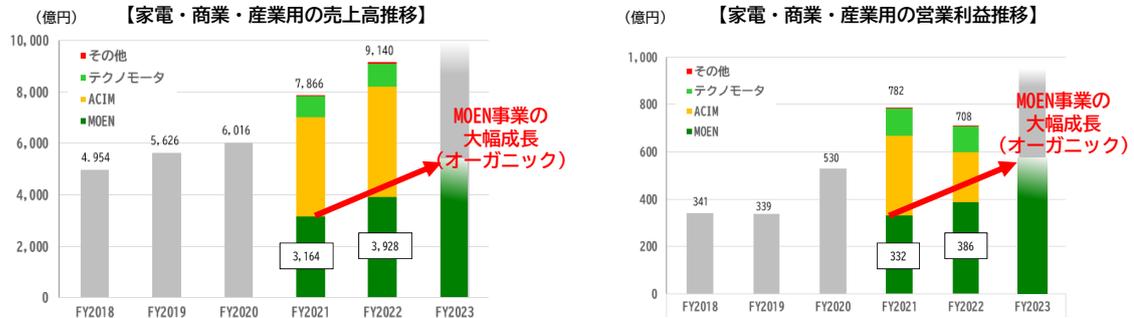
- 家電分野は、高効率モータへの置き換えが進展。空調機・洗濯機・乾燥機・食洗器用や、冷蔵庫用コンプレッサー用途のブラシレスDCモータ需要等を獲得。
- 商業分野は、業務用空調機用途やEコマースで使用されるロボットモジュール等の需要を獲得。
- 産業分野は、再生可能エネルギー市場において不可欠なBESSや、半固体リチウムイオン電池メーカーFREYR社との合併事業に注力。



■家電・商業・産業用：MOEN事業（Motion Energy）



MOEN事業は、家電・商業・産業用の売上・利益の両面でFY23業績に貢献



【MOEN事業の主要製品】



13

■家電・商業・産業用：MOEN事業におけるソリューション・ビジネス



【事例①：バッテリーエネルギー貯蔵システム（BESS）】

既進出の西欧市場に加え
東欧・アフリカ・中国・
米国市場における事業拡大を視野



欧州・北米・アフリカエリアを軸に、グローバル市場における持続的成長性を実現（詳細は次頁を参照）。

【事例②：充電ステーションを受注】（イスラエル）

地中海沿岸・西欧地域における積極的
事業拡大を目指す



イスラエルの主要ガス・エネルギー販売会社の一つである Amisragas グループ所属の自然エネルギー関連企業である AmisraGreen より EV 充電用の「ダイレクトパワー充電ステーション」計44台を受注（約100万ユーロ）。

【事例③：リグリア海の岸壁電化プロジェクトを受注】（伊）

オール電化に向けた海事・
港湾の進化を推進



当社の電力変換技術を用いたジェノヴァ港とサヴォーナ港の岸壁電化工事を受注（総額約2,600万ユーロ）。港に停泊するクルーズ船やフェリーが、船内発電機のスイッチを切り、電力網に接続して運航に必要な電力を得るシステム。

【事例④：高圧送電線の電圧安定化プロジェクトを受注】（伊）

欧州で送電線への再生可能
エネルギー利用を促進



当社の電力品質確保技術を用いたイタリア送電事業者テルナ社（ガラティーナ、オーレリア地域での多段階スタートコム変電所を供給）より2つのプロジェクトを受注（総額約4,000万ユーロ）。高圧送電線の電圧安定化に貢献し、より多くの再生可能発電源が送電網に接続可能となる。

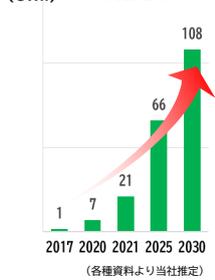
14

■家電・商業・産業用：バッテリーエネルギー貯蔵システム（BESS）

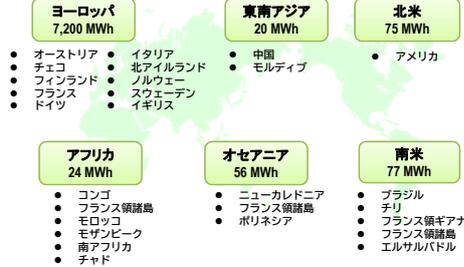


ニデックは世界27の国と地域で135のプロジェクト（7.4GWh超）のBESS設置実績を誇る

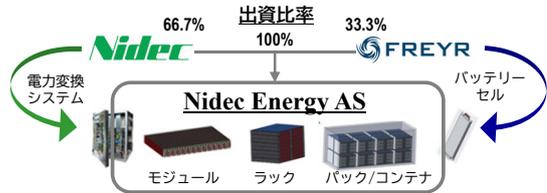
【グローバルBESS市場規模】
（電力会社向け）



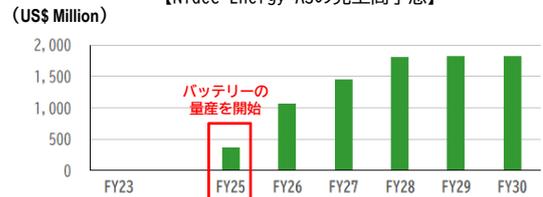
【当社BESSの設置実績】



【ノルウェーFREYR社との合併会社設立完了（22年12月）】



【Nidec Energy ASの売上高予想】



【当社BESSの主なアプリケーション】



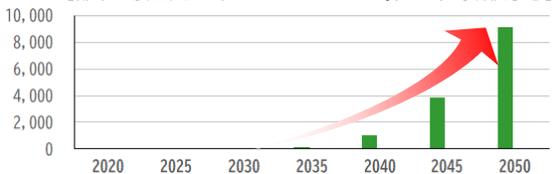
■家電・商業・産業用：航空宇宙市場の電動化ビジネスに進出



【伯EMBRAER社との合併会社設立に向けた契約締結（23年6月）】



【都市型航空交通（Urban Air Mobility）の市場規模予想】



【ソフトバンクとHAPS向けモータを共同開発（23年6月）】



（参考）HAPS (High Altitude Platform Station) のイメージ



■家電・商業・産業用：米Houma Armature Worksの持分取得完了と新子会社概要



モータ・発電機等の製品及びアフターマーケットでの競争力を高め収益性を伴う成長を加速

【新子会社の概要】

社名	Houma Armature Works (法人名 TAR, LLC)
本社所在地	米国 ルイジアナ州ホーム
設立	1972年
事業責任者	コリー・ハンセン (事業統括リーダー) ロイ・コビット (統括責任者)
事業拠点	米国ルイジアナ州ホーム、テキサス州ヒューストン
事業内容	産業機器向けモータ、発電機、制御システムの修理、リビルド品販売、設置、製造、メンテナンス等
従業員数	94名
売上高	US\$31.4百万 (2022年12月期)

【主要なサービス/製品】

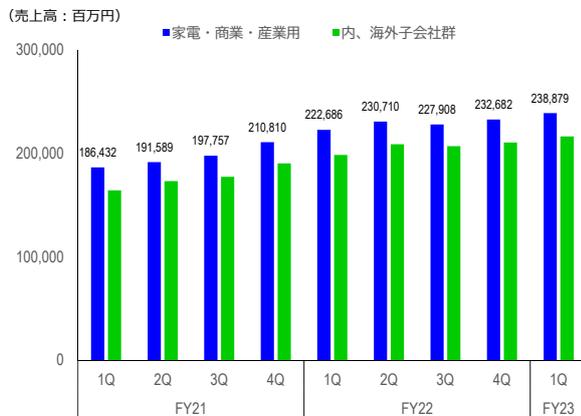
<p>1. インショップ・サービス</p> <p>モータ・発電機の部品交換・修理・ワインディング・負荷試験等。</p> 	<p>2. フィールド・サービス</p> <p>モータ・発電機・制御システムを専門とした、設置・メンテナンス・修理。</p> 
<p>3. ストレージ</p> <p>温度管理された施設で交換用機器を安全に保管。メンテナンス中のダウンタイムを抑制。</p> 	<p>4. モータの製造・販売</p> <p>石油・ガス探査を推進する掘削用モータの製造・販売。</p> 

■家電・商業・産業用：四半期別業績推移



発電機やクリーンエネルギー市場の追い風を受け、海外子会社の収益性改善が進展

【売上高の推移】



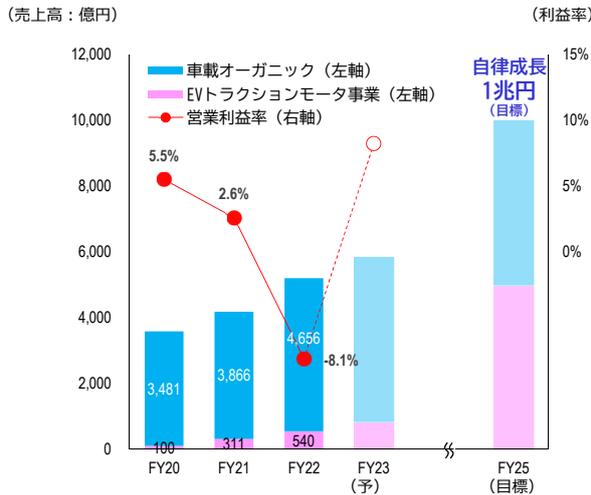
【営業利益額と営業利益率の推移】



■ 車載：高成長への打ち手

CASE革命による旺盛な電動化需要を待ち伏せし世界No.1の車載システム企業を目指す

【車載の Vision2025】



【EVトラクション関連】

- FY23は、E-Axle Gen2 (第2世代) の投入 (目標: E-Axle全体数量の8割超)、並びにGen1 (第1世代) の原価低減と出荷の収束化を図り、営業利益黒字化を実現。
- 商圏を、これまでの中国中心からグローバル (欧米) へ展開。製品も、これまでのE-Axle (システム) に加えてモータ単体を筆頭とした部品にも注力し、売上・利益の成長を強力に推進する。

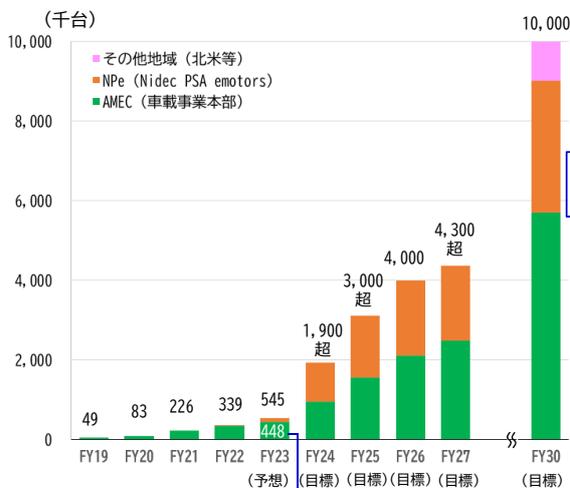
【車載オーガニック】

- グローバル自動車市場は成長率が鈍化傾向も電動化進展による旺盛なモータ等の関連需要を当社は捉え、電動パワーステアリング用や電動ブレーキ用等を軸に、更なる市場シェアを獲得。

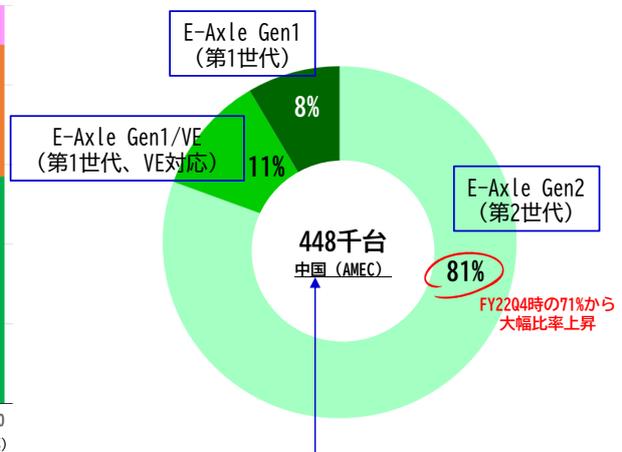
■ 車載：当社E-Axleの販売台数推移

EVトラクションモータ事業は今1Q (四半期) 黒字化を達成。収益性最優先へ強力に舵取り

Nidec E-Axleの販売台数見通し



Nidec AMECの FY23 E-Axle販売計画 (内訳)

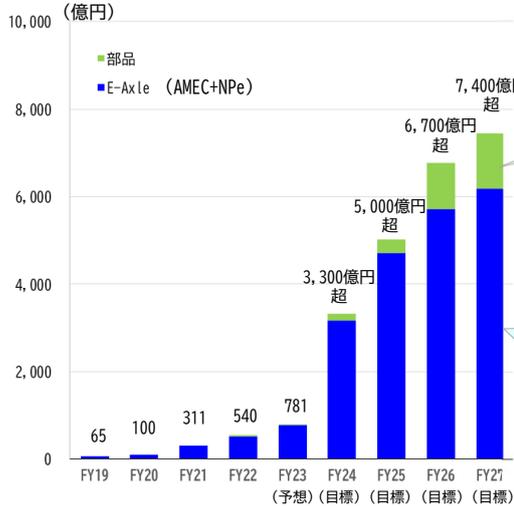


■ 車載：EVトラクションモータ事業の売上高推移



E-Axleに加えてモータ単体等部品にも注力しFY25売上高5千億円（目標）達成を目指す

Nidec EVトラクションモータ事業の売上高推移



【部品】

Deepal SL03 ... 採用モデル数は今後も拡大

【E-Axle】

追加採用 (赤字)

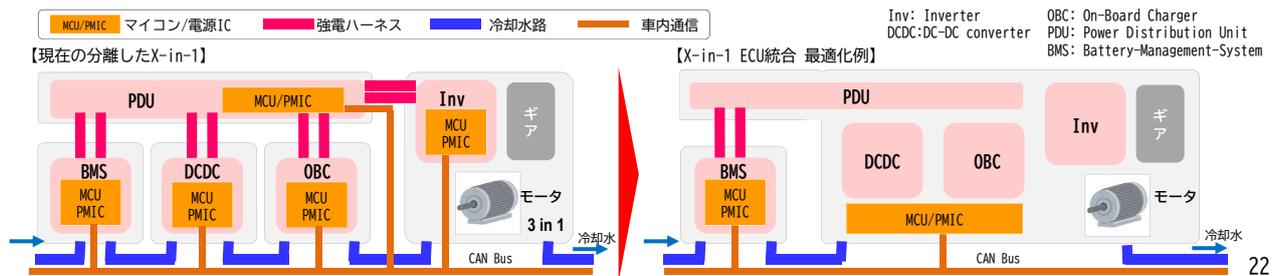
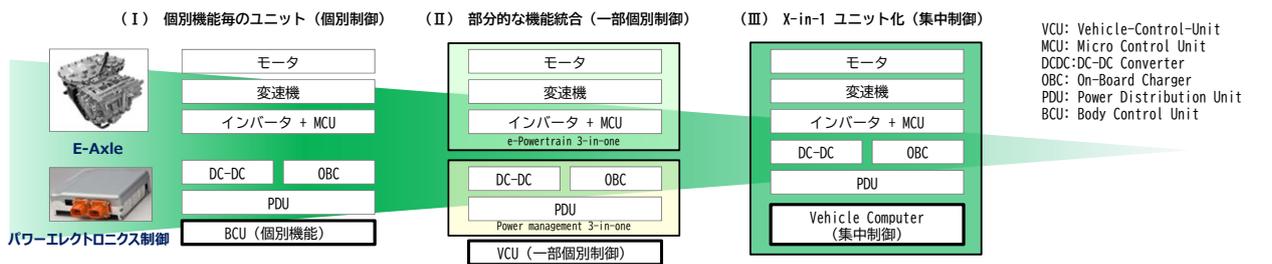
採用モデル数は今後も拡大

■ 車載：Nidec と RENESAS が次世代E-AxleでPoC*を共同開発



* PoC: Proof of Concept (概念実証)

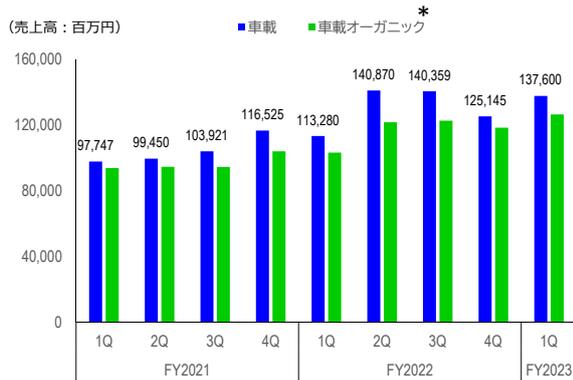
統合化により、部品点数の削減や軽量化・体積削減、さらには全体最適による効率化を実現



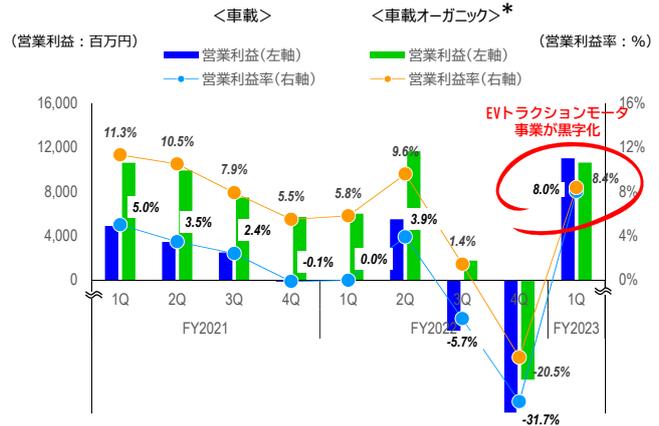
■ 車載：四半期別業績推移

FY22下期の構造改革費用計上から、FY23は大幅な反転攻勢へ

【売上高の推移】



【営業利益額と営業利益率の推移】

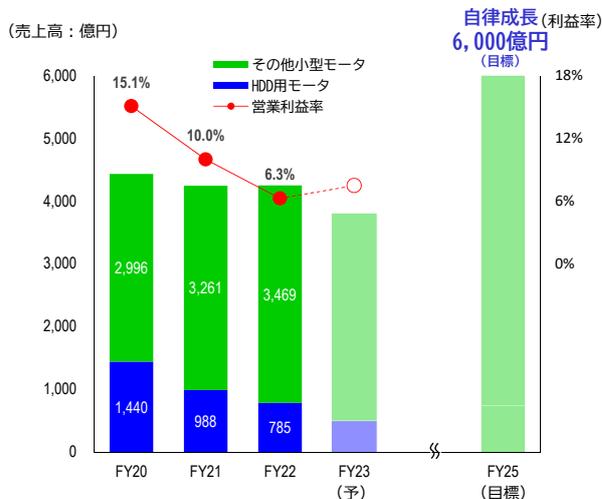


*車載オーガニック…車載から、EVトラクションモータ事業による業績影響を除外したものの。

■ 精密小型モータ：セグメント内の事業ポートフォリオ転換を加速

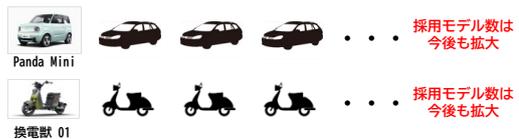
省電力関連やサーマルマネジメント需要の獲得に加え、車載小型モータの量産化を開始

【精密小型モータの **Vision2025**】



【中期成長ドライバー】

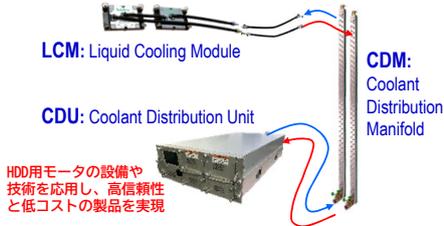
- ①車載小型モータ（電動2輪用モータや出力30kW以下の小型EV用モータ等）、②サーマルマネジメント（冷却ファンや台湾CCI等）、③デジタル家電用モータ、の3分野への集中的な取り組みを通じ、精密小型モータにおけるポートフォリオ転換を着実に遂行。
- HDD用モータは、主にデータセンター向けやサーバー用途の需要拡大を捉え、ニアライン用HDDモータ等の高付加価値品の製品構成比率上昇を通じ更なる高収益化を図る。



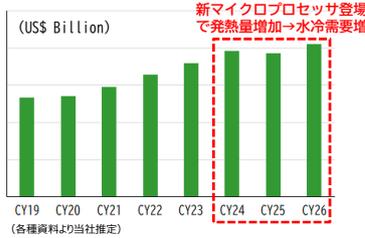
■ 精密小型モータ：サーマルソリューション分野

ChatGPT等のAI利用の拡大に伴ってHPC（High Performance Computing）需要が増加

【製品事例：水-水交換タイプ（Liquid to Liquid）】



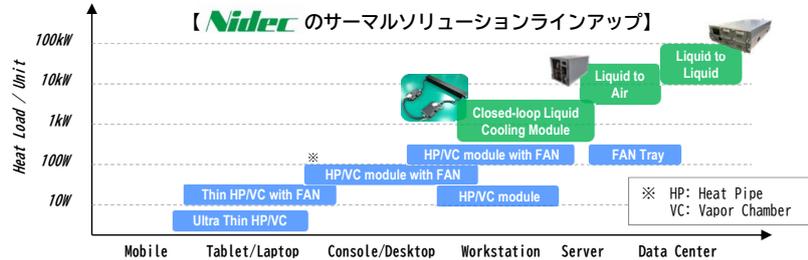
【HPCサーバーの市場規模】



HPCシステムの構築・運用において必ずつきまとう熱問題

従来の空冷ではシステムの冷却が不足

水冷システムへの置き換えニーズへの対応（量産を開始）

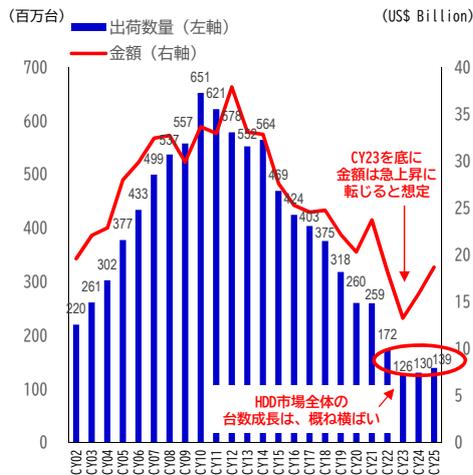


データセンター（イメージ）

■ 精密小型モータ：サーバー用途HDDモータの需要トレンド

AIの市場ニーズの高まりにつれて、ストレージ需要は中長期的に拡大を継続

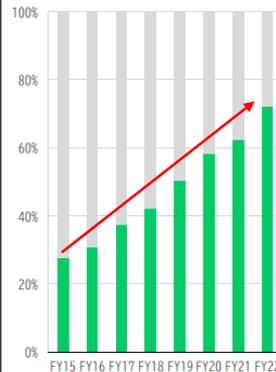
【HDD出荷数量と金額（TSR）】



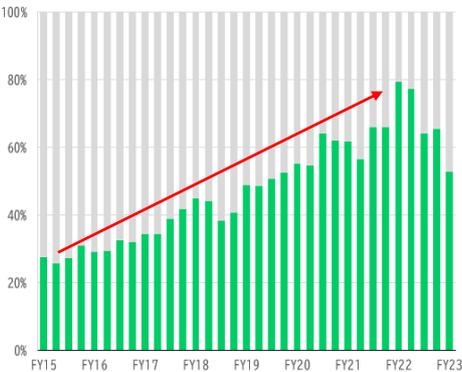
【当社HDDモータ出荷に占めるサーバー用途の比率（金額ベース）】

サーバー用途（緑色）の比率は年度別・四半期別にみても拡大の一途を辿る

年度別推移

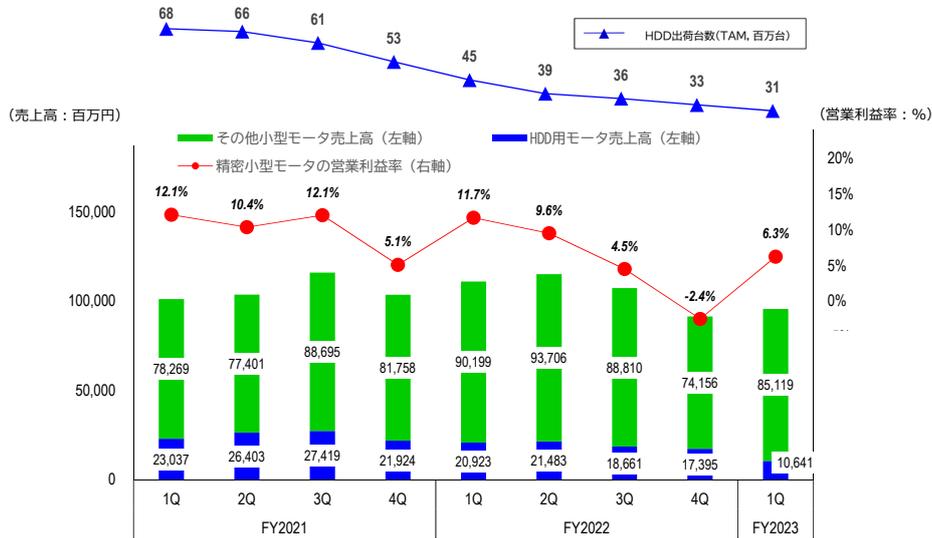


四半期別推移



■精密小型モータ：四半期別業績推移

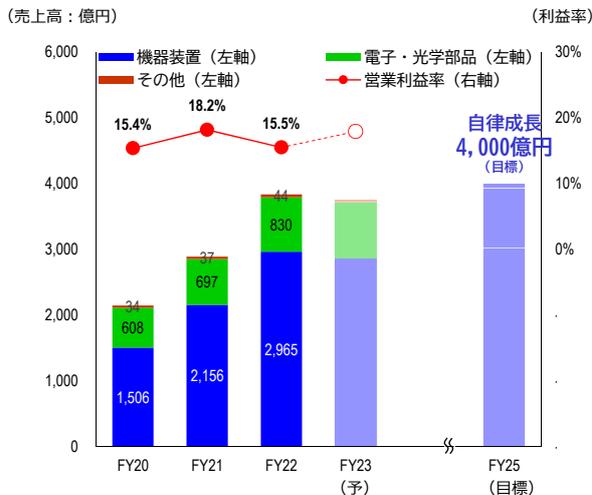
中期成長を見据えた種蒔きと短期業績の回復に向けた **WPR-X** 活動を同時に推進



■その他製品グループ：高成長への打ち手

FY23より機械事業本部が始動（減速機・プレス機・工作機械）、機器装置の高成長を牽引

【その他製品グループの Vision2025】



【中期成長ドライバー】

- 機械事業本部（ニデックドライブテクノロジー^{*}）でFY25売上高5千億円、FY30売上高1兆円を目指す。
- 波動歯車減速機は、引き続き協働ロボット市場のグローバルシェア拡大を徹底推進。遊星減速機も、欧州に新生産拠点を設け売上拡大を図る（旧NMAスペイン拠点の遊休資産を活用）。
- プレス機は、アンチプラスチック向けやEV向け等の成長分野を強化。周辺の装置も補強し小型高速機から大型機まで全ラインアップを強化。
- 工作機械は、ポートフォリオの充実（販売市場と製品構成の多様化）を図るなか、特に中国市場を深耕し高成長を狙う。**（株）TAKISAWAへTOBの意向を表明。**



歯車工作機械の生産現場
(中国平湖市のレンタル工場：22年10月～)



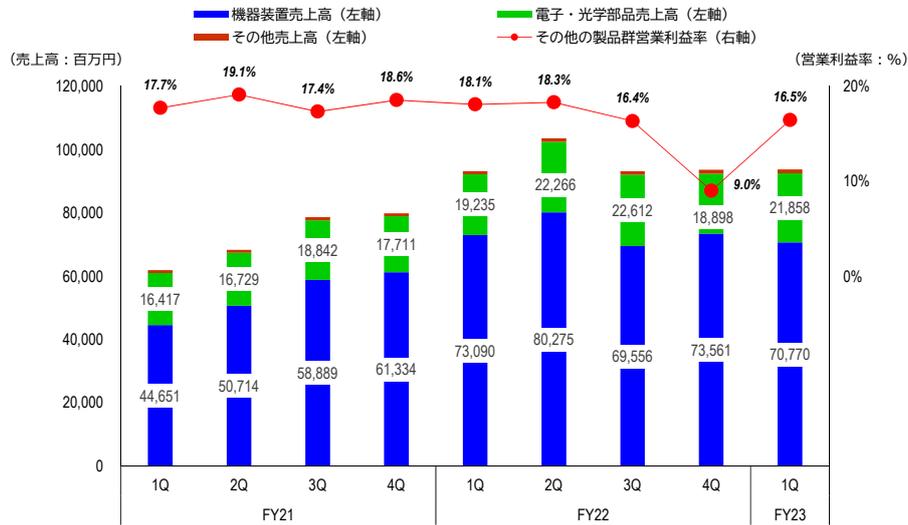
工作機械の中国平湖新工場
(第1期工事：2023年6月竣工)

* ニデックドライブテクノロジー：旧、日本電産シンボ

■ その他の製品グループ：四半期別業績推移



FY22Q4の構造改革費用計上を経て、FY23は更に一段上の収益性改善を狙う



お問い合わせ先

ニデック株式会社 IR・CSR推進部

Tel : 075-935-6140

E-mail : ir@nidec.com

業績推移・ 製品グループ別状況

■コロナ後の新「5つの大波」



コロナ禍で露呈した人類共通の課題を解決するニデックのソリューションビジネス群



5G & サーマルソリューションの波

(キーワード：触覚、手振れ補正、放熱モジュール)

脱炭素化の波

(キーワード：走る・曲がる・止まる、安全・快適、熱マネジメント)



無人搬送台車

省人化の波

(キーワード：産業用ロボット、サービスロボット、物流)

ドローン用モータ

減速機

ニアライン用HDDモータ

デジタルデータ爆発の波

(キーワード：高速・大容量、GAFA、巣ごもり)

省電力化と

コロナ後の波

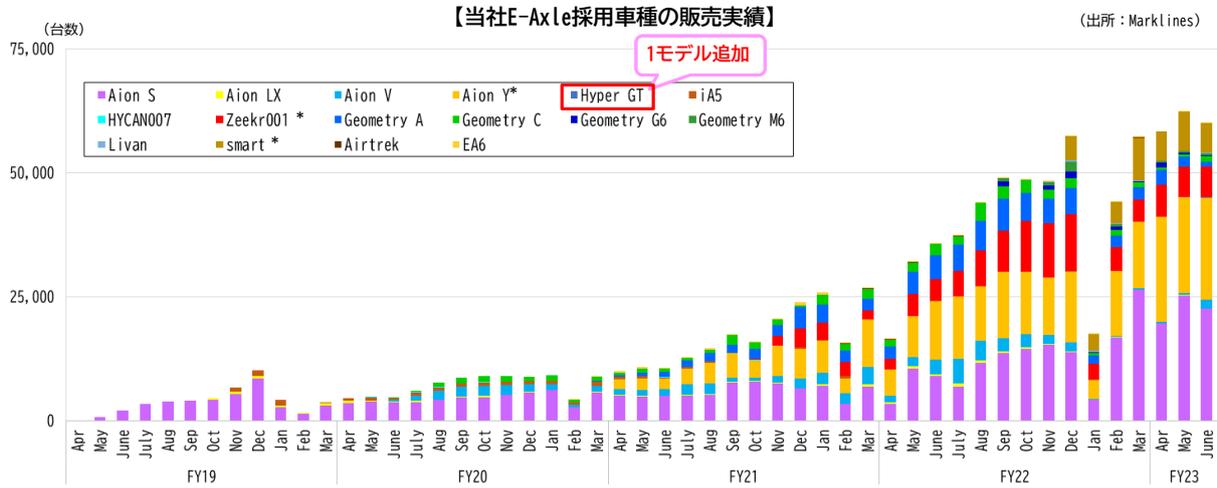
(キーワード：殺菌、衛生、巣ごもり)

家電用モータ

冷蔵庫用コンプレッサ

■ 車載：当社E-Axle搭載車種の販売状況

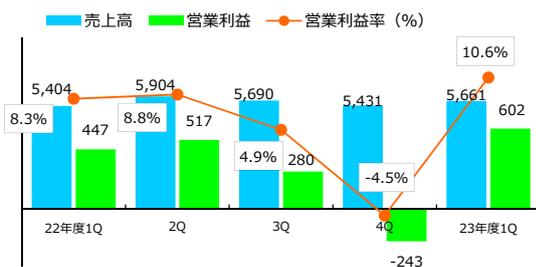
当社E-Axle搭載車種はFY20に前年比90%増、FY21同140%増、FY22同138%増



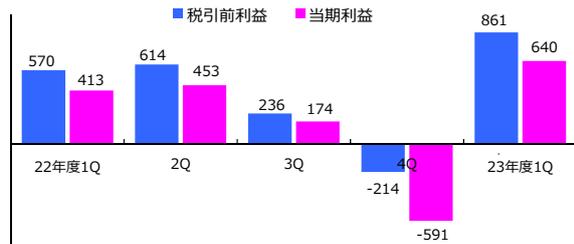
* Zeekr001、smart、Aion Yは、当社E-Axleを一部搭載。

■ 連結決算ハイライト

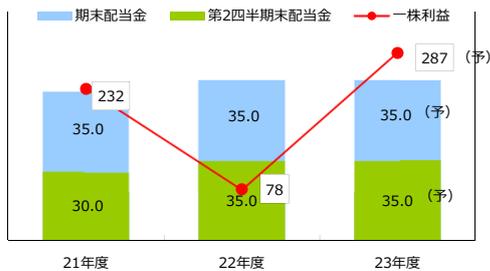
【売上高・営業利益の推移（億円）】



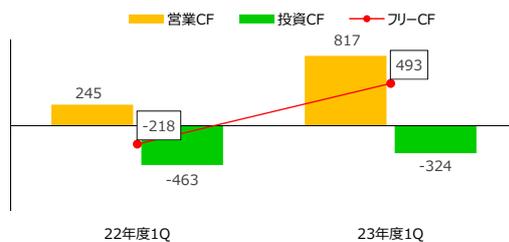
【税引前利益・当期利益の推移（億円）】



【配当金の推移（円）】



【キャッシュフローの推移（億円）】





NIDEC CORPORATION



当社2023年7月13日付「株式会社TAKISAWA（証券コード：6121）に対する公開買付けの開始予定に関するお知らせ」についての参考説明

ニデック株式会社

2023年7月20日

－注意事項－

本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画又は戦略が含まれています。この将来予測に基づく記載及び発言は、為替変動、製品に対する需要変動、各種モータの開発・生産能力、関係会社の業績及びその他のリスク並びに不確定要素を含みます。本プレゼンテーション及び引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載及び発言は、本プレゼンテーション日時点で当社が合理的に入手可能な情報に基づいており、当社は、法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載及びや発言を更新する義務を負いません。また、この記載及びや発言は、将来の実績を保証するものではなく、また、多数の要素が複雑に関係していること等から、実際の結果が、当該記載及び発言並びに当社の現在の期待とは、異なる場合があります。これらの要素やリスクについては、関連する当社の適時開示等の公表資料の記載についてもあわせてご覧ください。

対象会社概要

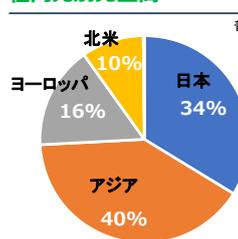


会社名	株式会社TAKISAWA (以下「対象会社」) (旧商号：株式会社滝澤鉄工所)
本社	岡山県岡山市北区撫川983番地
工場 (2カ国/1地域、 5拠点)	・本社工場(岡山市)、下庄工場(倉敷市)、玉倉工場(倉敷市) ・台湾滝澤科技股份有限公司 (台湾店頭市場上場、証券コード：6609) ・滝澤機電(浙江)有限公司
創立	1922年8月
事業内容	金属工作機械の製造販売 (数値制御旋盤 及び普通旋盤等)
資本金	23億1,902万円
連結業績	売上高：27,995百万円 営業利益：1,138百万円 注) 上記の情報については、対象会社の2023年3月期有価証券報告書に基づいています。
代表取締役社長	原田 一八
従業員数	連結749名 注) 左記の情報については、対象会社の2023年3月期有価証券報告書に基づいています。
株式上場	東証スタンダード (証券コード：6121)
営業拠点	国内：11か所 (関東営業所ほか9営業所、1連絡所) 海外：12か所 (中国、台湾、タイ、インドネシア、ベトナム、印、独、米)

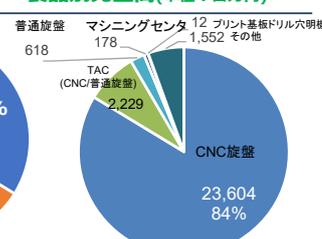
過去5年の売上高、営業利益、営業利益率 (単位：百万円)



仕向先別売上高



製品別売上高(単位：百万円)



注) すべての上表の情報については、対象会社の2023年3月期有価証券報告書に基づいています。
2

工作機械事業戦略 ~主な対象会社の選定理由~



製品補完性

- 対象会社の主力製品である旋盤は、工作機械市場の33%を占め、かつニデックの既存事業に含まれていない製品であり大きな補完性あり
- 対象会社の別の主力製品である立型マシニングセンタは、対象会社及びニデックがともに扱うとする製品だが、対象会社の製品は小型で売上も国内2.5億円(22年3月期)に限定され、一方で当社マシニングセンタは広範囲であるため、両社で棲み分けが可能

市場補完性

- 対象会社はニデック(ニデックマシンツール・ニデックオーケーケー・PAMA)との**市場補完が可能**

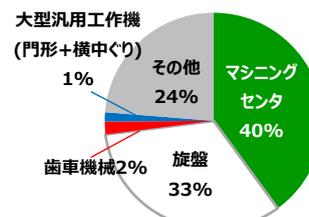
製品	製品・市場マトリクス	販売地域 (太字が主力市場)		
		中国・アジア	欧州・米国	日本
旋盤	対象会社	(対象会社)	(対象会社)	対象会社
マシニングセンタ (立型)	(ニデックオーケーケー)	(ニデックオーケーケー)	ニデックオーケーケー / (対象会社)	
マシニングセンタ (横型)	(ニデックオーケーケー)	(ニデックオーケーケー)	ニデックオーケーケー	
門形、横中ぐり、歯車機械等	(PAMA)	ニデックマシンツール PAMA	ニデックマシンツール	

↑ 市場の補完 ↑

出所：各社HP等にもとづき当社が作成

(参考)

工作機械世界市場 機種別比率



出所：当社調査にもとづき作成

製品の補完

ターゲットユーザーの共通性

- 例えば、ニデックOKKのマシニングセンタと対象会社の旋盤は**ターゲットユーザーが重なる**ため、クロスセルによる販売機会増、営業およびサービスの効率化など、**シナジーの迅速な実現**が期待可能

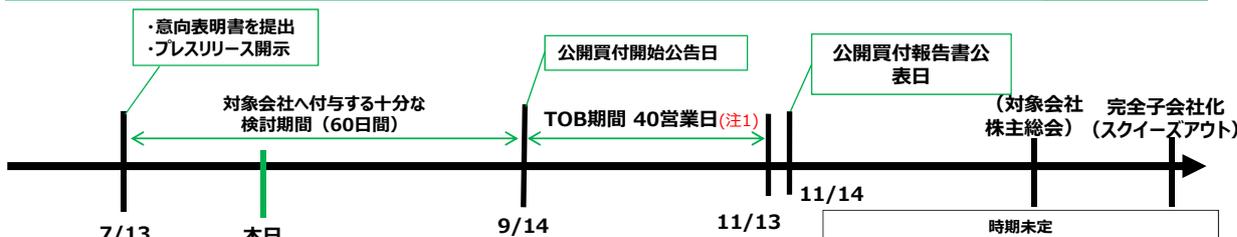
公開買付条件



公開買付者	ニデック株式会社
対象会社	株式会社 T A K I S A W A (証券コード6121 東証スタンダード)
公開買付期間 (予定)	2023年9月14日(木)~2023年11月13日(月) 上記は、当初の公開買付期間内に買付け予定数の下限を充足したことを確認及び公表し、公開買付期間を10営業日延長した場合の期間を記載しています。
買付価格	1株当たり 2,600 円
プレミアム	基準日を7/12とした 基準日終値 1,447円 79.68% 1ヶ月平均 1,269円 104.89% 3ヶ月平均 1,272円 104.40% 6ヶ月平均 1,221円 112.94%
買付予定株数の上限	なし
買付予定株数の下限	発行済株式 (対象会社が所有する自己株式を除きます。) の過半数である 3,194,100 株 (注) 買付予定数の下限は、対象会社が6月29日に提出した第93期有価証券報告書(以下「対象会社有価証券報告書」といいます。)に記載された2023年3月31日現在の対象会社の発行済株式総数(6,578,122株)から、対象会社有価証券報告書に記載された同日現在において対象会社が所有する自己株式数(189,939株)を控除した株式数(6,388,183株)に係る議決権の数(63,881個)の2分の1以上となる議決権数(31,941個(小数点以下を切上げ))に対象会社株式1単元(100株)を乗じた株式数(株)としております。
公開買付報告書公表日	2023年11月14日(火) (予定)
公開買付代理人	(正)三田証券/(復)マネックス証券

4

想定スケジュール



(注1) ※上記は、当初の公開買付期間内に買付け予定数の下限を充足したことを確認及び公表し、公開買付期間を10営業日延長した場合の期間を記載しています。

【スクイーズアウトの方法】
TOB成立後、
(i)議決権の90%以上を所有するに至った場合：売渡請求によるスクイーズアウト
(ii)議決権の90%以上を所有するに至らない場合
株式併合を行うための臨時株主総会を開催し、スクイーズアウトについて決議
①可決された場合：速やかにスクイーズアウト
②否決された場合：3分の2の議決権を獲得するまで対象会社株式を追加取得し、3分の2以上超の議決権を獲得後、再度臨時株主総会を開催し、株式併合によるスクイーズアウトを決議

【スクイーズアウトの際の価格条件】
スクイーズアウト手続及び上記追加取得において、公開買付者が株主の皆様に対して支払う対価は、本公開買付価格と比較して、経済的に同等の価格

許認可取得

競争法

・日本: 7/2付で必要手続完了

・ベトナム: 届出済

→ 9月半ば: 完了見込 (予定)

FDI(注2)

・米国対米外国投 : 簡易届出(Declaration)

資委員会(CFIUS) は7/18提出済

30日の待機期間

→ 8月中旬: 完了見込 (予定)

(注2) 「FDI」とは、対内直接投資規制(Foreign Direct Investment)を意味します。

5

